

ILASセミナー：海洋共生生態学入門(2)
採集調査とフィールド観察、(3) 京都大学白浜水族館の展示内の共生関係の観察、などを行う。
【履修要件】
特になし
【成績評価の方法・観点】
実習への積極的な参加(50点)、レポート(50点)により評価する。
実習実施時期次第で成績報告が遅れるので要注意。
【教科書】
実習期間中、プリントなどを配布する。
【参考書等】
(参考書) 日本ベントス学会『海洋動物の生態学入門: ベントスの多様性に学ぶ』(海文堂出版、2020年) ISBN:4303800511(共生関係をはじめ、海洋生態学の基本を学べる) 山守瑠奈『たくましくて美しいウニと共生生物図鑑』(創元社、2021年) ISBN:4422430432(磯のウニとその共生生物について紹介) 清家弘治『海底の支配者 底生生物-世界は「巣穴」で満ちている』(中央公論新社、2020年) ISBN:4121506766(海底の生物の巣穴で見られる共生関係について紹介)
【授業外学修(予習・復習)等】
上記に挙げた参考書などを事前に読むなどして、海洋生物や共生関係について事前に知識を増やしておけば、実習の内容などをスムーズに理解できる。
【その他(オフィスアワー等)】
受講希望者数が定員(5名予定)を超える場合、抽選による選抜を行う。5月か6月にガイダンスを行うので、受講希望者は必ず出席すること。 野外実習を含むため、学生教育研究災害傷害保険には必ず加入すること。 臨海までの交通費、現地での滞在費・食費は自己負担。宿泊場所は瀬戸臨海実験所の宿泊棟の利用を予定。 集中講義の実施時期次第では、成績報告が遅れる可能性がある。要注意。
【主要授業科目(学部・学科名)】